

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公表番号】特表2018-500677(P2018-500677A)

【公表日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2018-001

【出願番号】特願2017-532043(P2017-532043)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

B 32 B 27/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/041 4 0 0

G 06 F 3/041 4 9 0

B 32 B 27/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月17日(2018.12.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 0】

好みしい実施形態を参照しながら本発明を説明してきたが、当業者は、本発明の趣旨及び範囲から逸脱することなく、形態及び詳細の変更を行えることを認識するであろう。

本発明の実施態様の一部を以下の項目[1] - [20]に記載する。

[1]

第1の光学的に透明な接着剤組成物と、

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物を実質的に取り囲んだ第2の遮光性接着剤組成物と、を含む、2成分形接着剤層。

[2]

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物は、波長範囲400 ~ 700 nmにおいて、約90パーセントを超える視感透過率、約2パーセント未満のヘイズ、及び約1パーセント未満の不透明度を有する、項目1に記載の2成分形接着剤層。

[3]

前記第2の遮光性接着剤組成物は、波長範囲400 ~ 700 nmにおいて、約90パーセント未満の視感透過率、約2パーセントを超えるヘイズ、及び約1パーセントを超える不透明度を有する、項目1に記載の2成分形接着剤層。

[4]

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物は感圧性接着剤である、項目1に記載の2成分形接着剤層。

[5]

前記第2の遮光性接着剤組成物は感圧性接着剤である、項目1に記載の2成分形接着剤層。

[6]

約5マイクロメートル～約2ミリメートルの厚さを有する、項目1に記載の2成分形接着剤層。

[7]

第1の基材と、

第 2 の 基 材 と 、

前記第 1 の 基 材 の 少なくとも 1 つ の 主 表 面 と 前 記 第 2 の 基 材 の 少なくとも 1 つ の 主 表 面 と の 間 に 位 置 し て 、 前 記 第 1 の 基 材 の 少なくとも 1 つ の 主 表 面 と 前 記 第 2 の 基 材 の 少なくとも 1 つ の 主 表 面 と に 接 触 し た 2 成 分 形 接 着 剂 層 で あ っ て 、

第 1 の 光 学 的 に 透 明 な 接 着 剂 組 成 物 と 、

前 記 第 1 の 光 学 的 に 透 明 な 接 着 剂 組 成 物 を 実 質 的 に 取 り 囲 い た 第 2 の 遮 光 性 接 着 剂 組 成 物 と を 含 む 、 2 成 分 形 接 着 剂 层 と 、 を 含 む 積 層 体 。

[8]

前 記 第 1 の 基 材 及 び 前 記 第 2 の 基 材 の う ち の 少なくとも 1 つ が 実 質 的 に 透 明 で あ る 、 項 目 7 に 記 載 の 積 層 体 。

[9]

前 記 第 1 の 基 材 、 前 記 第 2 の 基 材 、 又 は 前 記 第 1 の 基 材 及 び 前 記 第 2 の 基 材 の 両 方 は 、 デ ィ ス プ レイ パ ネ ル 、 タ ッ チ パ ネ ル 、 光 学 フ ィ ル ム 、 カ バ レ ン ズ 、 又 は 窓 か ら 選 択 さ れ る 、 項 目 7 に 記 載 の 積 層 体 。

[10]

前 記 デ ィ ス プ レイ パ ネ ル は 、 液 晶 デ ィ ス プ レイ 、 プ ラズ マ デ ィ ス プ レイ 、 O L E D デ ィ ス プ レイ 、 エ レ クト ロ ウエッティ ング 方 式 デ ィ ス プ レイ 、 及 び 陰 極 線 管 デ ィ ス プ レイ か ら 選 択 さ れ る 、 項 目 9 に 記 載 の 積 層 体 。

[11]

前 記 光 学 フ ィ ル ム は 、 反 射 体 、 偏 光 子 、 鏡 、 防 眩 又 は 反 射 防 止 フ ィ ル ム 、 抗 破 片 フ ィ ル ム 、 拡 散 体 、 あ る い は 電 磁 干 涉 フ ィ ル タ か ら 選 択 さ れ る 、 項 目 9 に 記 載 の 積 層 体 。

[12]

前 記 2 成 分 形 接 着 剂 层 は 約 5 マ イ ク ロ メ ー ト ル ~ 約 2 5 0 マ イ ク ロ メ ー ト ル の 厚 さ を 有 す る 、 項 目 7 に 記 載 の 積 層 体 。

[13]

少なくとも 6 0 、 かつ 相 対 湿 度 8 0 % の 環 境 に 少なくとも 7 2 時 間 置 か れ て か ら 室 温 ま で 冷 却 し た 後 に 透 明 を 維 持 す る 、 項 目 7 に 記 載 の 積 層 体 。

[14]

光 学 的 に 透 明 で あ る 第 1 の 接 着 剂 組 成 物 を 供 給 す る こ と と 、 遮 光 性 で 、 前 記 第 1 の 接 着 剂 組 成 物 を 実 質 的 に 取 り 囲 い た 第 2 の 接 着 剂 組 成 物 を 供 給 す る こ と と 、 を 含 む 、 2 成 分 形 接 着 剂 层 を 形 成 す る 方 法 。

[15]

前 記 2 成 分 形 接 着 剂 层 は 、 約 5 マ イ ク ロ メ ー ト ル ~ 約 2 ミ リ メ ー ト ル の 厚 さ を 有 す る 、 項 目 1 4 に 記 載 の 方 法 。

[16]

前 記 第 1 の 光 学 的 に 透 明 な 接 着 剂 組 成 物 は 、 波 長 範 囲 4 0 0 ~ 7 0 0 n m に お い て 、 約 9 0 パ ー セ ン ト を 超 え る 視 感 透 過 率 、 約 2 パ ー セ ン ト 未 滿 の ヘ イ ズ 、 及 び 約 1 パ ー セ ン ト 未 滿 の 不 透 明 度 を 有 す る 、 項 目 1 4 に 記 載 の 方 法 。

[17]

前 記 第 2 の 遮 光 性 接 着 剂 組 成 物 は 、 波 長 範 囲 4 0 0 ~ 7 0 0 n m に お い て 、 約 9 0 パ ー セ ン ト 未 滿 の 視 感 透 過 率 、 約 2 パ ー セ ン ト を 超 え る ヘ イ ズ 、 及 び 約 1 パ ー セ ン ト を 超 え る 不 透 明 度 を 有 す る 、 項 目 1 4 に 記 載 の 方 法 。

[18]

前 記 第 1 の 接 着 剂 組 成 物 及 び 前 記 第 2 の 接 着 剂 組 成 物 は 、 透 明 な 基 材 上 に 供 給 さ れ る 、 項 目 1 4 に 記 載 の 方 法 。

[19]

前 記 第 1 の 接 着 剂 組 成 物 は 感 圧 性 接 着 剂 で あ る 、 項 目 1 4 に 記 載 の 方 法 。

[20]

前 記 第 2 の 接 着 剂 組 成 物 は 感 圧 性 接 着 剂 で あ る 、 項 目 1 4 に 記 載 の 方 法 。

【 手 続 補 正 2 】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の光学的に透明な接着剤組成物と、

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物を実質的に取り囲んだ第2の遮光性接着剤組成物と、を含む、2成分形接着剤層。

【請求項2】

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物は、波長範囲400～700nmにおいて、約90パーセントを超える視感透過率、約2パーセント未満のヘイズ、及び約1パーセント未満の不透明度を有し、前記第2の遮光性接着剤組成物は、波長範囲400～700nmにおいて、約90パーセント未満の視感透過率、約2パーセントを超えるヘイズ、及び約1パーセントを超える不透明度を有する、請求項1に記載の2成分形接着剤層。

【請求項3】

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物と前記第2の遮光性接着剤組成物のうち少なくとも一つは感圧性接着剤である、請求項1に記載の2成分形接着剤層。

【請求項4】

約5マイクロメートル～約2ミリメートルの厚さを有する、請求項1に記載の2成分形接着剤層。

【請求項5】

第1の基材と、

第2の基材と、

前記第1の基材の少なくとも1つの主表面と前記第2の基材の少なくとも1つの主表面との間に位置して、前記第1の基材の少なくとも1つの主表面と前記第2の基材の少なくとも1つの主表面とに接触した2成分形接着剤層であって、

第1の光学的に透明な接着剤組成物と、

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物を実質的に取り囲んだ第2の遮光性接着剤組成物とを含む、2成分形接着剤層と、を含む積層体。

【請求項6】

前記第1の基材、前記第2の基材、又は前記第1の基材及び前記第2の基材の両方は、ディスプレイパネル、タッチパネル、光学フィルム、カバーレンズ、又は窓から選択される、請求項5に記載の積層体。

【請求項7】

前記2成分形接着剤層は約5マイクロメートル～約250マイクロメートルの厚さを有する、請求項5に記載の積層体。

【請求項8】

少なくとも60、かつ相対湿度80%の環境に少なくとも72時間置かれてから室温まで冷却した後に透明を維持する、請求項5に記載の積層体。

【請求項9】

光学的に透明である第1の接着剤組成物を供給することと、

遮光性で、前記第1の接着剤組成物を実質的に取り囲んだ第2の接着剤組成物を供給することと、を含む、2成分形接着剤層を形成する方法。

【請求項10】

前記第1の光学的に透明な接着剤組成物は、波長範囲400～700nmにおいて、約90パーセントを超える視感透過率、約2パーセント未満のヘイズ、及び約1パーセント未満の不透明度を有し、前記第2の遮光性接着剤組成物は、波長範囲400～700nmにおいて、約90パーセント未満の視感透過率、約2パーセントを超えるヘイズ、及び約1パーセントを超える不透明度を有する、請求項9に記載の方法。